

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育サービス
事業所名	社会福祉法人 恩徳寺会 田上保育園
代表者氏名（管理者）	施設長 川口 寛徳
法人名	社会福祉法人 恩徳寺会
定員（利用人数）	令和7年利用人数 5歳児13名 4歳児13名 3歳児12名 2歳児10名 1歳児10名 0歳児6名
施設・事業所所在地	大津市稲津2-5-7
TEL	077-546-1372
FAX	077-546-5889
電子メール	hiro4041@mnet.ne.jp
ホームページアドレス	http://www.ontokujikai.com/

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	公益社団法人 滋賀県社会福祉士会
評価実施期間	令和8年 2月 19日・20日

3 評価の概要

○ 総合評価

田上保育園は、昭和45年4月に地域住民の協力と、恩徳寺初代住職の働きかけにより本堂にて保育受け入れが始まりました。真宗保育の精神に基づき、豊かな人間性や豊かな心を育てることを目的とし、仏教保育に取り組んでいます。昭和49年3月に厚生省より許可を得て事業を開始し、増築や園舎全面改築等、時代に合わせた運用を長い歴史の中で継続しています。大津市稲津と立地もよく、園前には稲津児童公園があり恵まれた自然環境となっていて、外遊びで体を動かして遊べます。田上保育園の保育目標である「生き抜く力の基礎を持った子ども」元気な子ども・仲の良い子ども・考え、豊かに表現できる子どもになってくれるように、保育士が分け隔てなく園児や保護者と関わり、児童福祉法に基づく理念と基本方針を遵守しながら、仏教保育で仏教の精神・生活態度を実践しています。

特に評価の高い点

【良い点】

1. 仏教保育

仏教保育として、仏教の精神を理想とし、それを生活態度として実践させていく保育が行われています。人間形成のいちばん大切な基礎づくりの時期にあたる乳幼児期に豊かな人間性・こころを育てることを保育の目的とし、理念や基本方針も確立しています。真宗保育を具現化するために、ともに育ちあう保育を実践されています。保育目標として、生活（養護）の援助と、発達（教育）の援助を連動させ、養護のねらいは「子どもが健康、安全で情緒の安定した生活が送れるようにする」教育のねらいは「遊びを通じ、友達と関わりながら、豊かな表現力創造性を身につけ、生き抜く力の基礎をつくる」と明文化し家庭と保育所が一緒になって子育てに取り組んでいます。毎月発行される「報恩」や「衆会」で徳目や仏教の教えに触れることで、優しい気持ちと自らを律する厳しさの両方が育ちます。

2. 安心・安全な福祉サービスの提供

健康支援：健康発育発達状況や、心身の状態、家庭生活の把握をしたうえで、健康観察を行い、必要に応じ記入しています。年間保健指導計画に基づき保育するなかで、万が一異常が認められたときの連絡連携体制が確立されており、虐待の事前防止に努めています。家庭と連携し乳幼児健診や予防接種の受診を推奨しており、感染症発生及び対応のお知らせは随時迅速に保護者専用ホームページ更新、メール等で届けられています。アレルギー疾病を有する子どもへの対応も徹底されており、園内での手洗い歯磨き等の生活習慣の指導もされています。内科検診が年2回、歯科検診と検尿が

年1回、4.5歳児は視力聴力検査も実施し、結果は保護者に知らされ共有されています。

環境衛生管理：業者による害虫駆除や水回りの清掃、職員による用具等の掃除及び消毒がされています。安全管理と自主点検（月一回の砂場の消毒等）も定期的に行われ、園前の稲津公園等外遊びが安全に行えるように、側溝掃除や害虫点検、予防措置が適切になされています。消毒液やペーパータオルの設置等園内の衛生管理にも努めています。

関係機関との連携：地域の関係機関とも必要な情報を適宜連携しており、風通しの良い連携体制が構築されています。

記録管理：毎日の支援は詳細に記録・管理されており、職員間で懸念事項や気づきを常時共有できる仕組みが機能しています。

3. 地域で子育てする家族・園児の保護者家族との連携

保護者の仕事の状況や子育てにおける不安や悩みなど、保護者の気持ちに寄り添い支える関係が構築されています。園だよりを毎月作成し配布・提示するとともに、ICTも活用し保護者はいつでもホームページを通じて子どもの様子を見ることが出来、電話するほどでもないような些細な気付きはweb連絡に打ち込むことが出来ます。世帯別個別懇談会を行い、園での様子を伝え、保護者と連携を取りながら、子育てに喜びが感じられるように適切な助言とともに支援しています。アンケートからも信頼関係が構築されていることが理解できました。また地域で子育てする家族への支援として、全戸訪問や子育てに関わる情報の提供及び相談支援を担っています。また、職場体験や実習生の受け入れ等次代を担う子どもたちの貢献に積極的に関わっています。

4. 職員の資質向上と良好な職場環境

それぞれの職務内容に応じた専門性を高めるため、園外研修に参加し必要な知識及び技術を取得し向上に努めています。研修復命書により全職員が同じ知識を身につけられるように努めています。キャリアアップ研修で専門性の向上を図るとともに、園内研修や法人研修も通じて、より良い保育に向けての資質向上に研鑽されています。園長が労務管理責任者となり働きやすさを実現することと、年2回の個別面談以外にも主任保育士等に日常的に気楽に相談できる関係性が構築されていることで、中途離職者がこれまでなく、職員の定着率が非常に高くなっています。長年働き続ける保育士が多数いることは特筆すべき良い点であり、働きやすい職場環境が確立されている証であり、園児や保護者にとって大きなメリットであるといえます。

○ 改善を求められる点

環境整備

大変歴史のある保育園ですので、建物の老朽化は仕方のないところですが、物が多い印象でした。園児の安全に十分配慮しておられると思いますが、下駄箱の上や家具の上には物を置かない方向に改善いただけることを期待します。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

施設責任者である園長が交代して初めての第三者評価受審となりましたが、評価調査者の皆様には本園の取り組みを詳細に確認いただき、心より感謝申し上げます。

本園は地域の皆様の温かいご支援と深いご縁のもと、長年にわたり学区唯一の保育所として歩みを進めてまいりました。今回の評価では、職員の専門性や保育内容の実践を客観的に評価していただき、現時点での到達点とともに、今後取り組むべき改善事項を明確にすることができました。長い歴史の中で培ってきた保育の質を基盤としつつ、今後は地域社会における貴重な福祉資源としての自覚をより一層高め、客観的な視点を反映した計画的な改善に向けて、職員一丸となって邁進してまいります。